

慶應科学講演会シリーズ

# 銀河系の中心では 何が起きているか?

©NASA

慶應義塾大学

理工学部 物理学科

岡 朋治先生

多くの銀河の中心には、太陽の数百万倍以上の質量を持つ巨大なブラックホールがあると考えられています。

それらは周囲のガスを引き寄せ、重力エネルギーを解放する事によって時に眩く輝く事があります。そして、私達の住む銀河系(天の川銀河)もまた例外ではありません。

銀河系中心核は非常にコンパクトな電波源「いて座A\*」として認識されます。昨年、ドイツの研究グループが、いて座A\*に落下しつつある一つのガス雲を発見しました。最新の予測によれば、このガス雲は来年の春には中心核へ最接近します。

さて、来年の春、私達の住む銀河系の中心核は一体どういう事になっているのでしょうか?



於 来往舎 1階シンポジウムスペース  
5月27日(月) 15:15~16:30

対象：どなたでも☆塾高将来開発P対象講座

